

### 文教民生委員会

視察日 6月29日～7月1日  
視察市 北海道室蘭市・江別市  
視察項目  
室蘭市

・子育て支援プラン策定までの経緯  
・障がい者支援計画  
江別市

・子ども発達支援センター施設見学  
・江別市郷土資料館施設見学

#### 子育て支援プラン策定までの経緯

製鉄とともに発展し、日本の環境保全に貢献する産業が栄える室蘭市では子育て支援のブランド化に向け、子供の読書環境、屋内外の遊び場を充実させる事業等に加え、平成26年度からは第3子以降の保育料無料化、子育て世帯の持ち家取得を支援する事業を実施している。本年3月に発行された『むろらん子育てガイドブック』は、子育て世代をサポートする制度や情報が一冊でわかる中身の濃い内容になっている。

#### 障がい者支援計画

室蘭市障がい者支援計画では、地域生活の支援体制の充実に向け、日中活動の場所の拡充を図っている。また、市から障害者就労施設等への委託を受け、公園の草刈り等の清掃・施設管理、印刷物の作成、学校給食の菓子パンの提供等を行っている。その他、室蘭市『子どもを守る総合政策』では、小中学校、PTA、母親クラブ、子供会等の地域が一体となった子供を守る運動を行い、活動の支援として、防犯ジャンパー、ベスト、のぼり旗等を貸与している。

#### 子ども発達支援センター

江別市子ども発達支援センターは、発

### 産業建設委員会

視察日 7月6日～8日  
視察市 北海道苫小牧市・浦河町  
視察項目  
苫小牧市

・中小企業振興条例  
・まちなか再生総合プロジェクト  
浦河町

・移住対策  
・農業のブランド化の取り組み

#### 中小企業振興条例

地域経済を支えてきた中小企業の活力低下が懸念されることから地域振興は市中小企業、経済団体、大企業、市民が協働して推進されるべき、を基本理念として平成25年条例を制定した。各団体には責務を設ける。一方あくまでも中小企業が主役であるとも言う。審議会では創業促進・人材育成・事業継承・販路拡大などの部会を設け地域全体で振興にかかわる姿勢には学ぶべき部分があった。

#### まちなか再生総合プロジェクト

平成18年、中心市街地活性化基本計画の改正時、すでに郊外に大型店の進出は進んでおり進出の規制を断念。しかし市街地は疲弊しており放っておかず平成23年取り組んだのがCAPというプロジェクトのこと。大型店とは競合するのではなく差別化し地元食材を使い町なか限定で提供できるグルメの開発や地場産品の販売を促進し独自の魅力発信を心がけているという。今後は移動に不安を抱える高齢者の増加が予想されるので都市機能の集積した市街地で歩いて暮らせるまちづくりを目指す。その一環で市街地に賃貸住宅を建設する事業者に費用の一部を助成するとの説明に感心を寄せた。

### 移住定住

都会での団塊の世代をターゲットに始めたが、さほどではなく近年は体験型の移住を進めているとのこと。体験移住から、完全移住する方も多く、結局は人と人のつながりで、暮らし案内人を配置してのサポートも、ふえている一因では話す。体験移住は移住に失敗しないためのシステムで、初期投資は不要。また受け入れ側でも空き家の有効活用や経済効果、住所移動がないので社会保障費はふえない等の利点がある。当初は住民や議会から同意が得られなかったが今では「もつと受け入れを」に変わったと苦労話もあった。

#### 農業のブランド化の取り組み

平成15年当時、日本では夏イチゴの生産量は少なく海外に依存する状況であったことから生産に取り組んだと話す。就農希望者の研修には国・町の助成金を充て、施設はJAが建てリース、初期投資はいらないと話す。我が市でも施設園芸が少しずつふえているが、さらに農家の意識改革が必要と感じた。最後に観光振興と、まちおこしの話で、田舎暮らしが町かと思ったらそうでもない「何でもない町」が起き、移住者が訪れ「何でもない町」に変わった。現在はまだ

おこしチームを立ち上げ一人

口が減少しても心もお金も

豊に暮らせる町を目指す」と

語る姿に現状を受け止め見

つめ直すことも必要と感じ

た視察である。

(落合範良)



江別市子ども発達支援センターにて

るほか、巡回相談や発達相談等の市単独事業を実施しているため、専門職が配置されており、これらのスタッフを通所支援に活用できるなどのメリットがある。

#### 江別市郷土資料館施設見学

江別市郷土資料館は、旧中央公民館を改修し平成3年に開館した江別の歴史と文化を展示している施設である。大英博物館にも展示された大麻3遺跡出土土器を始め、教科書で見たことのある土器の展示が特徴的であった。能代でも江別D式土器が出土しているとの説明もあった。

(渡邊正人)



浦河町役場にて